

景気の動き

四 国 (四経連「景気動向調査」結果)

項目	12月判断	前回（9月判断）
調査結果の概要	四国の景気は、総じて持ち直しの動きがみられる。	四国の景気は、一部で足踏みがみられるものの、総じて持ち直しの動きが続いている。
経営者の景況感	明るさが戻っている	やや慎重化した状況が続いている
生産	持ち直しの動きに足踏みが続いている	同左
輸出	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの動きに足踏みが続いている
在庫	「過剰」・「やや過剰」とする割合が上昇している	同左
企業業績	良好に推移している	同左
設備投資	堅調に推移している	同左
雇用	良好な状況となっている	同左
個人消費	全体として回復が続いている	同左

[四国経済連合会 2025年12月26日発表]

全 国 (月例経済報告・内閣府)

項目	12月月例	11月月例
基調判断	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。 （先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。）	同左
個人消費	持ち直しの動きがみられる	同左
設備投資	緩やかに持ち直している	同左
住宅建設	弱含んでいる	同左
公共投資	底堅く推移している	堅調に推移している
輸出入	輸出 おおむね横ばいとなっている	同左
	輸入 おおむね横ばいとなっている	同左
	貿易・サービス収支 赤字となっている	同左
生産	横ばいとなっている	同左
企業	収益 米国の通商政策による影響が自動車産業を中心みられる中で、改善に足踏みがみられる	同左
	業況判断 おおむね横ばいとなっている	同左
	倒産件数 増加がみられる	このところ増加がみられる
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左
物価	国内企業物価 このところ緩やかに上昇している	同左
	消費者物価 上昇している	同左

[内閣府 2025年12月19日発表]